

# 「日・ASEANの観光交流を深める会」開催 気運醸成へ双方の関係者ら約500人が参加

「日・ASEANの観光交流を深める会」が8月5日、東京プリンスホテルに関係者ら約500人を集めて開催されました。

JATAと日本観光振興協会、全国旅行業協会、日本旅館協会、日本ホテル協会、日本百貨店協会が構成される「日・ASEANの観光交流を深める会実行委員会」（委員長 山口範雄・日本観光振興協会会長）が主催した同会には、ASEAN各国大使館や政府観光局の関係者をはじめ、国土交通省や外務省、法務省、内閣官房などの関係者や国会議員などが参加し、日本とASEAN諸国との相互交流のさらなる拡大に向けた取り組み強化や気運醸成の必要性を確認しました。

実行委員長を務めた日観振の山口会長は、日本からASEANを訪れる旅行者が年間330万人に達する一方で、ASEANからの訪日旅行者がその2割にも満たないことを指摘し、「日本とASEANの友好協力40周年を迎える今年を契機に、双方の関係者が結束して観光交流の拡大を図ろう」と呼びかけました。来賓として出席した太田昭宏国土交通大臣は、7月からASEANの5カ国

を対象に訪日ビザの要件を緩和したことを踏まえ、「訪日旅行者の増加に向けて、ビザ緩和を起爆剤にしたい」と意欲を示しています。

実行委員会副委員長を務めたJATAの菊間会長は、会議後に開催された懇親会の冒頭で挨拶し、日本とASEANの双方方向における観光交流が大きく伸びていくことを指摘すると同時に、今年4月からJATAがスタートさせたツアーオペレーター品質認証制度の取り組みを紹介して、「JATAとしても、インバウンド事業の強化を図りたい」と語りました。

また、懇親会に駆けつけた菅義偉・内閣官房長官は、ASEAN5カ国を対象とする7月のビザ要件緩和に続き、今年12月に開催が予定されている日・ASEAN特別首脳会議までに、今回の5カ国以外のASEAN各国についてもビザ緩和を実施する方向で取り組む方針を明らかにしています。

## 富士山でツアー登山研修を実施 安全を基本とした旅行商品造成目指す

JATAは8月1日と2日の1泊2日の日程で、「平成25年度JATAツアー登山 富士山実地研修」を実施しま

した。

今回の研修では、6月の世界文化遺産登録を受けて、ますます人気が増えることが予想される「富士山」を、実際に登山することを通じて、落雷や高山病などの危険性を持つ山である事実を再認識し、安全を基本とした旅行商品の造成に努める一助とすることを目的としました。

今回の研修などを通じ、富士山のツアー登山実施に当たって、次のようなポイントが確認されています。

(1)富士山登山には、**服装・装備の案内の再徹底が必要**

日本最高峰の富士山登山には落雷、高山病をはじめ注意すべきことが少なくありません。旅行会社の立場から、富士山を安全に登山するための服装・装備をはじめ、諸注意事項の喚起を徹底する必要性を痛感しました。

(2)引率者（ガイド）との登山で初心者も**安全な登山が可能**

特に、一般のお客様には、安心・安全に富士山に登山いただくためにも、旅行会社のガイド付きツアーの有用性をもつとアピールしていくことが必要です。

(3)旅行会社として**安心・安全を担保したツアー登山の実施を**

今回の研修でも、途中に弾丸登山の注意喚起の看板が掲げられていましたが、旅行会社としては、改めて、安心・安全を担保したツアー登山の実施を心がけな

ければなりません。

(4)高山病予防のため五合目登山口で**十分な高度順応を**

高山病にかからないようにするために、五合目登山口で十分に高度順応することが必要で、水分補給をしながらゆっくり登ることが肝要です。

(5)一般のお客様に**しっかりと理解していただくことが大切**

山小屋は詰め込み状態のゴロ寝となります。とても快適とは言えないので、一般のお客様にはしっかりと理解をしていただくことが大切です。

## LET'S TRY! DS秋講座・受講生募集開始!!

DS講座とは22講座で33地域の歴史、地理、文化等についてWebドリルを通じて反復学習しながら、さまざまな知識を身に付けられる講座です。締め切りは、9月20日（金）です。

また、今回、アメリカ講座、ハワイ講座、グアム・マリアナ講座を受講し、現地への渡航経験が無い方の中から抽選で5名の方に、ブランドUSAのご協力により現地への研修旅行を実施予定しています。

またオーストラリア政府観光局では認定者に、お得にオーストラリアをご旅行していただけるサービスを紹介、現地ホテルなど割引や無料サービスなど特典盛りだくさんです。詳細は、トラベルカウンセラー制度推進協議会のホームページなどで後日発表します。

また、これらの地域への渡航経験が無い皆さんもぜひ、この機会にDS講座を受講して認定を目ざしてください。

<http://www.traco.jp/>